



沼津西ロータリークラブ週報



夢をかたちに

2008～2009年度
第 18巻 29号
2009年2月5日

● クラブテーマ ● 目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 栗原侑男君

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 840 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

今日は地球温暖化がこんなところにも影響を及ぼし始めていることについて話をしてみたいと思います。

皆さんもワインを飲むと思いますが、世界の有名ワイン醸造地に異変が起きつつあります。

アメリカ・南オレゴン大学のグレゴリー・ジョーンズ助教授が、世界の27産地を調査分析したところ、1950～1999年の過去50年間に気温は平均1.26度上昇しました。この時点では産地の多くはブドウの品質の面で恩恵を受けてきましたが、この先2000年～2049年の50年間に於いては、なんと、さらに平均2.04度上昇する予測が出ました。

現在、ワインの名産地として名高いフランスのボルドーやシャンパーニュ地方、イタリアのトスカナ地方などのワインは糖分、タンニン、アルコールなどの絶妙なバランスが高く評価されていますが、今後は収穫されるブドウの糖度が高くなりすぎ、酸やアルコール度数など味わいへの大きな影響が懸念されます。

また、ワインに適するブドウ栽培の緯度が上がり、将来的にはドイツ北部や英国南部で美味しいワインが出来ることになるかもしれません。

日本でも、山梨県のあるワイナリーでは、これまでは両親が植えたシャルドネやカベルネ・ソーヴィニオンなど、比較的冷涼、温暖な気候を好むブドウ品種を育ててきましたが、これだけ暑くなり、さら

に将来を見据えると、ほぼ確実にもっと暑い土地で本領を発揮するブドウ品種に植え替えを行わなければならなくなるだろうと考えられています。

考えられる品種は、南フランス産のタナやシラーです。暑さに強いブドウ品種です。タナの名前の由来は、タンニン。タンニンは口に含んだときの渋みや苦味のもととなるポリフェノールの一種で、赤ワインには欠かせない大切な成分です。タナはタンニンを多く含む濃厚な色調を持つ、しっかりした味わいを持つブドウ品種です。

メルローで有名な長野県桔梗ヶ原でも、標高700メートルの高地でブドウを栽培し、冷涼な土地を選んで植えていますが、それでも夜の気温が下がらなくなったり、病気が増えて困るようになったそうです。

長野県の農業試験場のある部長は「温暖化が進むと岩手県や青森県、北海道が最適地になる可能性がある」と話しています。

世界の名産地ではなおさら、それぞれのワインが持つ、先人が築いてきた長い歴史や伝統を、たった50年やそこらで塗り替えてしまうことはできません。

好きなワインの一例を一つとっても、地球規模で温暖化現象が大きな問題であることを改めて知りました。

私も、身の回りで、できることから気を付けていきたいと思います。

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	植松 正

2月のプログラム

841回	12:30	ブケ東海	会員卓話
02月12日(木)		井上武雄君	理事会
842回	18:30	ブケ東海	2クラブ合同例会
02月19日(木)		クラブ管理運営委員会	夜間例会
843回	12:30	ブケ東海	外部卓話
02月26日(木)		元テレビ朝日	ハノイ支局長 北村元様

出席委員会報告

●ビジター

1. 石川秀雄様：沼津RC
2. 砂田嘉正様：沼津RC
3. 若林庸道様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
840回	25名	19名	-	76.00%
838回	25名	22名	-	88.00%

●欠席者(6名)

後藤 昭、本村文一、佐野 稔、杉山壽章、鈴木博行、渡辺亀一

●スマイル報告

1. 名古屋良輔：今年の誕生日、欠席いたしました。
お祝いありがとうございます。
2. 宮口雅仁：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 西島邦彦：誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 井上武雄：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
5. 久松 但：下期の会費の領収書発行が遅れて申し訳ありません。
6. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①富士宮ロータリークラブ
3月23日(月) 特別休会
3月30日(月) 観桜例会

2. 報告・連絡事項

- ①IMの青表紙を各テーブルに置きます。ご記入下さい。

会員卓話

栗原 侑男君 ～自動車のあゆみ



自動車の起源を考えてみましょう。どのような事項においても「本当の起源」を探るのはとても難しいことです。紀元前はるか昔、文明が栄えた頃に「車輪」が発明され、この「車輪」から、様々な車ができました。

紀元前4000年頃のメソポタミア文明には、車輪を用いた戦車があったようですが、これらは「自力で走行」をしていないので、「自動車の起源」とはいえません。その後、人類は少しでも「楽」になることを目指し、他の生き物である「馬」を利用するようになり、「馬車」が登場しました。馬には迷惑だったのかもしれませんが、人間にはとても都合の良い乗り物が誕生したのです。ちなみに、日本では馬を使った「走る」乗り物ではなく、牛を使う「歩く」乗り物のほうが多かったようです。少し自動車に近くなりましたが、まだ「自力で走行」をしていないので「自動車の起源」とは言えません。以後、約200年間という長い間、馬車は利用され続けました。

それ以後オランダで風力を利用した風力帆走車が発明されましたが、これもやはり自力で走行していません。ドイツの時計職人が、小さめの荷車をゼンマイ仕掛けで動かすことを考えて、少し「自動車」に近くなったと思います。18～19世紀イギリスの産業革命当時世界をリードする産業大国で石炭を使った蒸気機関が実用化、蒸気自動車が誕生しましたが、重量があり制御の難しさなど軽量、安定性など課題が多いものでした。次に空気と石炭ガスの混合物で動力を生み出す仕組みが考え出されましたが、研究者が殺害されたためその研究は50年間ストップしてしまいました。そして蒸気機関の軽量化、安定性の向上が進み良い乗り物ができ発展していきました。

その後、50年前に殺害された研究家のアイデアが約60年経てやっと実現されたのがガソリン内燃エンジンで、それが今なお使われている4サイクルエンジンです。1892年にディーゼルエンジンが誕生しましたが、エンジンが重く自動車には適しませんでした。そして1881年には電気自動車が実用化し、1926年に電気自動車+ガソリン自動車、今で言うハイブリットカーがこの頃実現していました。



夢をかたちに

沼津西ロータリークラブ週報



2008～2009年度
第 18 卷 30号
2009年2月12日

夢をかたちに

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 井上 武雄君

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 841 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

先日、毎日新聞に野坂昭如氏の少しひねくれた面白い話が載っていましたので少し紹介いたします。

多民族国家アメリカに、アフリカ系大統領が生まれた。わが国にも熱狂的支持者が多らしい。書店で、バラク・オバマ関連の本がよく売れているという。オバマのスピーチが付いているとか。日本人はナマの言葉に飢えているようだ。我が方は「遺憾に思う」「前向きに」「襟を正して」「肅々と」などのオンパレード。およそ誠意、明解さ、熱意など伝わらぬ言葉の羅列。最近は読み間違えのお陰で難しい単語は排除されたが言葉は死んでいる。

押しも押されもせぬ世界の大国、その国民が自分たちの選んだ大統領に思いを託し、興奮している。それにしても8割を超える支持は危険をはらむ。彼のヒトラーは9割近い支持を集めたと言われているが、実際は6割程度だった。ムッソリーニも同様、独裁政治のあげく破綻。もちろん時代背景、状況が違う。しかし高支持率はやがて国家崩壊につながる。

さてオバマの高支持率はどうなるか。わが国の麻生内閣支持率は、就任直後から伸びず、いまや10%台。予想通りといえれば予想通り。支持率自体その調べ方に疑問は残るが、小泉内閣の発足当初、

これが9割に近かった。少し落ちて7割とか。やがて低下したにせよ、下手すりゃ小泉のもと、大日本帝国に戻りかねなかった。見ようによっては、麻生さんの低迷振りは、この数字よりはるかに健全とも言える。なにより世間がよく見ている証拠。

わが国は四面海にて囲まれた島国である。地続きで国境を接した国々の間柄のことはわかりにくい。国境といっても、人間が勝手に引いた線。ずいぶんとルーズなところもある。一方、緊張感あふれる、神経とがらせる場所である。どこの国にも、それぞれの文化があり、文明がふさわしく備わっている。日本には四季がある。当たり前のように思えるが世界では珍しい。気候や風土の違いによって、生まれる人も、物も異なる。つれて宗教も独自の姿をとる。日本は悪くいえば万事いい加減。だが融通のきく体質を持っている。宗教は絶対的なものだ。日本人は相対的なもの。さまざまな宗教を受け入れる下地がある。(以上の文は上野坂氏の文の一部)

野坂氏の話は日本の戦前、戦中、戦後の体験に基づいた中から生み出された思いが表れていると思います。私は戦後生まれで先の大戦の混乱期は体験しておりませんので本当の苦しさは分かりませんが、今でも世界のどこかで争いがおきています。

社会のリーダーを選びそしてその言行をじっくり見ていくことの大切さが再認識されました。また今が大事であることも痛切に感じます。

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	植松 正

2月のプログラム

842回	18:30	ブケ東海	2クラブ合同例会
02月19日(木)		クラブ管理運営委員会	夜間例会
843回	12:30	ブケ東海	外部卓話
02月26日(木)		元テレビ朝日	ハノイ支局長 北村元様

3月のプログラム

844回	12:30	ブケ東海	インターアクト報
03月05日(木)		告 久松但君	理事会
03月12日(木)		裁量休会	
845回	18:30	ブケ東海	PET報告
03月19日(木)		次年度会長・幹事	夜間例会
846回	12:30	ブケ東海	外部卓話
03月26日(木)		社会福祉法人静香会	浅賀貢様

出席委員会報告

●ビジター

1. 内田文喬様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
841回	25名	21名	-	84.00%
839回	25名	20名	0名	80.00%

●欠席者(4名)

後藤 昭、西島邦彦、尾島康夫、鈴木博行

●他クラブへの出席者

鈴木良則、芹澤貞治（2/7 米山梅吉記念館）

●スマイル報告

1. 芹澤貞治：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 久松 但：沼津柿田川RCとの合同例会、先方の出席者も多いようです。二次会への出席もお願いします。
3. 土佐通孝：バッジを忘れました。
4. 栗原侑男：所用につき、早退させていただきます。
5. 佐野 稔：所用につき、早退させていただきます。
6. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
7. 渡辺亀一：所要につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①吉原ロータリークラブ

3月12日（木） 吉原RC奨学会激励会の為
於：ホワイトパレス 夜間例会

②沼津柿田川ロータリークラブ

3月02日（月） 新入会員歓迎会 夜間例会
18時半点鐘
3月30日（月） 裁量休会

会員卓話



井上武雄君

皆様の前では、自分自身の紹介、仕事の考えについてお話ししようと、思います。

私は、1958年、昭和33年12月26日生まれで満50歳、犬年で血液型はO型です。

今までを振り返ってみると、二人の方の影響が非常に大きかったと思います。

一人は、物事の考え方を教えてくれた、小池政太郎先生です。

まず、人との接し方について、人間関係、世の中はタライとその内の水だと、自分の利益を考え、タライの内の水を集めると回り回って外へ出て行く。しかし、どうぞどうぞと、他人に与えると、回り回って水はいつか、自分の元へ戻ってくる。

「それも、感謝の気持ちを持って」とのことです。自分の事を考えるより、他人の事を考え人に思いやりの気持ちを持って接しなさいとの、教えです。

自分と他人との付き合い方を理解しやすく習わせてもらいました。

もう一人の方は、叔父の高浜久雄です。叔父は父が宮内庁に入省し、自分自身も旧大蔵省に入省した教育一家でした。

私には、退省した後の後任として設立した建設会社を、引き継がせたいと考えていた様で、色々厳しく躓けられました。勉強嫌いの私には、とても、耐えられないと思いました。

今までの教えのうちで、良く覚えている言葉は、「善は良、お人好しは悪」と言う言葉です。

良いことには、善が伴わなければならない、お人好しは（ルーズ）いい加減な事勿れ主義は、いけないとの教えです。

この二つの事柄を身に付けて仕事に生活に臨も

うと決めて、今までやっていました。

もう一つ、自分自身、大切な経験をした事は、心の結びつき、信頼という事です。

幼少の頃、病弱だった私は、何かと大病をして病院通いが大変多く、お医者さんや看護師さんに、とてもお世話になりました。とてもイヤで辛い治療もいつも、優しく励ましてくれたのが、先生でした。先生に誉めてもらうのが、とても嬉しく先生の前では一生懸命頑張ろうと思い辛い治療も歯を食いしばって我慢しました。いつも、先生は、よく頑張った偉いぞと言ってくれ、影で泣いてくれていました。そんな先生が、大好きで人の命を預かる医者という仕事を尊重し、とても大切な辛い仕事を引き受けている重大な職業と認識しました。

今いる自分、そして今迄の自分、そしてこれからの自分、他人の世話になって、どうにか生きてこれたと思います。これからも、他人の世話になっていかなければ、何一つ満足にやってはいけないと思います。

今迄の経験と思い出を、大切にしてい、自分の事より他人の事を大切に考えられる人になろうと思っています。

今後とも皆様には御指導ご鞭撻の程、よろしく、お願いします。。

②3～4月の座席表について SAA 宮島賢次君
・干支別とする。

③3月外部卓話謝礼について
・1万円とする。

④ロータリー財団への寄附額について
・当初予算どおり、ベネファクター分を除き、1人あたり100ドルの寄附とする。

◎100\$×88円×25人	ロータリー財団寄附	132,000円
	ポールハリスフェロー	88,000円
◎1,000\$×88円	ベネファクター	88,000円
	合計	308,000円

以上①～④を一括承認

編集後記

先日発表された日本の実質経済成長率は、昨年10～12月期はマイナス12.7%と石油ショック時以来の低水準を記録しました。そして雇用情勢は日を追うごとに悪化しております。

こんな不景気な世の中だからこそ、我々ロータリアンは「職業奉仕」について、より一層意識すべきなのかもしれないと感じる今日この頃です。

(文責 植松 正)

理事会報告

1. 協議事項

- ①3月プログラム クラブ管理運営委員長 井上武雄君、プログラム担当 久松但君
・クラブ管理運営委員会の原案どおりとする。

-----1月分出席一覧-----

後藤 (0)	久松 (④)	井上 (④)	栗原 (④)	宮島 (④)	宮口 (2)	本村 (3)
名古屋 (3)	西島 (3)	西山 (2)	大村 (2)	尾島 (2)	佐野 (2)	芹澤貞 (④)
芹澤和 (④)	重光 (④)	杉山了 (3, 1)	杉山真 (④)	杉山壽 (3)	鈴木博 (④)	鈴木泰 (④)
鈴木良 (2)	土佐 (④)	植松 (④)	渡辺 (④)			
			例会出席%	79.00 %	地区報告%	80.00 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



2008～2009年度
第 18 卷 31号
2009年2月19日

夢をかたちに

● クラブテーマ ●
目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■
2クラブ合同例会 クラブ管理運営委員会

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 842 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

今日は、沼津柿田川ロータリークラブをお招きしての年に一度の2クラブ合同例会です。記憶によりますと今回で11回になります。

私も沼津西ロータリークラブに入会して10年になりますが、最も親しく感ずるクラブの一つです。限られた時間ではありますが、互いの親睦を心行くまで深めてもらいたいと思います。

さて、話は変わりますが、今の日本の政治も経済も混迷を深めています。去年、米国サブプライム関連の損失に始まり、今では全世界を巻き込んだ金融のみならず全産業に多大な苦しみを与えています。

それは世界中の人々の生活をどん底に落としているのです。米国型の資本主義、自由主義経済が破綻したのだと思います。

この危機的状況からなんとか立ち直るよう世界中の政治家、経済人が集まり知恵を出し合い行動しています。その重要な会議に日本の代表として出席し、日本は何ができるかを世界にアピールする立場にある大臣が、会議後の記者会見で、無様な姿を世界にさらして、大臣・国会議員を自ら辞任もせず、平然としている。

また、その大臣の首も切れない日本の総理大臣。誠に情けない政治家の面々。国民の苦しみを知り、日本（世界）をこの危機からいかに反転正常化させていくか、真剣に考え、行動しているとはとても思えません。

政治家が職業とするならば、ロータリーの職業奉仕の精神がまったく無い面々。子供たちもこのような政治家を見ていると、明るい未来を描くことができないでしょう。

今年は、衆議院議員の選挙の年です。我われは心して、選挙に望まなければなりません。また自分自身も真剣に世の中のことを考えなければならぬと強く思います。

愚痴っぽい話が続きましたが、今日はせつかくの2クラブ合同例会です。普段の疲れを取り、ストレスを解消するよう楽しく過ごしましょう。

2月のプログラム

843回 12:30 ブケ東海 外部卓話
02月26日(木) 元テレビ朝日 ハノイ支局長 北村元様

3月のプログラム

844回 12:30 ブケ東海 インターアクト報
03月05日(木) 告 久松但君 理事会

03月12日(木) 裁量休会

845回 18:30 ブケ東海 PET報告
03月19日(木) 次年度会長・幹事 夜間例会

846回 12:30 ブケ東海 外部卓話
03月26日(木) 社会福祉法人静香会 浅賀貢様

出席委員会報告

★出席報告 (会員総数25名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
842回	25名	21名	-	84.00%
840回	25名	19名	1名	80.00%

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	植松 正

●欠席者(4名)

後藤 昭、佐野 稔、杉山真一、鈴木良則

●他クラブへの出席者

鈴木博行 (2/17 沼津北RC)

久松 但 (2/18 南アルプスRC)

●スマイル報告

1. 村田信一様(沼津柿田川RC)：今日は、宜敷く。
2. 鈴木泰次：沼津柿田川RCの皆様、ようこそ、おいで下さいました。本日は、楽しくやりましょう。
3. 久松 但：沼津柿田川RCのみなさま、合同例会、楽しんでください、
4. 井上武雄：沼津柿田川RC、本日は、よろしく、お願いします。
5. 渡辺亀一：先週、結婚記念日のお祝いありがとうございました。
6. A. B. Mテーブル：テーブル会の残金です。



両クラブ新入会員による自己紹介



伊豆長岡の芸者衆による演舞

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①吉原ロータリークラブ

3月12日 (木) 吉原RC奨学会激励会の為
於：ホワイトパレス 夜間例会

2. 連絡事項

①ガバナー事務所より

3月のロータリーレートは、1ドル=90円です。



両クラブ相互のカラオケ大会
(熱唱する尾島 康夫君)

2クラブ合同例会



鈴木 泰次
西クラブ会長



村田 信一
柿田川クラブ会長



すっかりほろ酔いの両クラブ幹事

両クラブの親睦を深める有意義な時間となりました。



沼津西ロータリークラブ週報



2008～2009年度
第 18 卷 32号
2009年2月26日

夢をかたちに

● クラブテーマ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

外部卓話 北村 元様 (元テレビ朝日ハノイ支局長)

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 843 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

先日の日経に載っておりました「丸の内キャリア塾」セミナーの基調講演で東京大学準教授・池谷裕二さんの「脳」の話に興味を持ちましたので、少し触れてみたいと思います。

脳について考える際には、「脳の気持ちになって考える」ことです。自分が脳になっていると想像してみてください。そうすると、「脳はひとりぼっち」であることに気が付くはず。脳はずっと頭蓋骨の中に閉じ込められています。暗く、隔離された世界の中において、そこから外の世界を見ることはできません。

では、脳が外の世界を知るにはどうすればいいのでしょうか。体を通じて情報を得るしかないのです。見る、聞く、触るといった体の行為があつて初めて、脳は外界のことを知ることができるのです。身体は脳にとっての唯一の情報源なのです。

これが意味することは、「脳による理解」の前に「身体の行動」があるということです。私たちは、まず脳の判断があつて、その後で脳から体に指令が下されるとつい考えてしまいます。しかし実際は逆なのです。

やる気やモチベーションは仕事にとって非常に重要な要素ですが、それは脳のどこから生まれるのでしょうか。実験によって、脳の深部「淡蒼球」という部位が活発化すると、やる気が出るということが分かっています。その淡蒼球を活発化させるのが線条体という部位です。

線条体の役割は、従来、歩き方、自転車の乗り方

、ピアノの弾き方、など身体に関する記憶です。その他に「直感」を生む働きもあることが分かってきました。

体にかかわる記憶と直感には、共通する二つの特徴があります。一つは、「無意識かつ自動的かつ正確である」ことです。例えば、目の前に置かれた、水の入ったコップを取り水を飲むことが、簡単に無意識のうち正確にできます。しかし、考えみればこの行為は脳が緻密な計算をして、体を動かしているわけです。

同様に、直感も無意識的なものであり、自動的に生じるものであり、多くの場合、的を射ています。

もう一つの特徴は、「繰り返しの訓練によって身に付く」ことです。生まれたばかりの子供は、繰り返す動作によって、多くの動作を身に付けていきます。

ある特定の直感は、女性の方が男性よりも明らかに優れていることが分かっています。その直感とは、言葉にならない相手の表情や仕草などから何かを感じ取る。そういった直感力に女性はたけているのです。

脳の中でも線条体は非常に古い部位であり、直感の力は原初の生物にもあったと思われます。論理性のみを重んずる社会よりも言葉にできない直感を大切にする社会のほうが、より人間の本質に根ざした社会であると思います。

線条体は脳の外の部位と違って、成人してからも成長します。つまり、直感力は年齢とともに発達させることが可能です。皆さんもぜひ直感力をどんどん磨いてください。

会 長	鈴木泰次	幹 事	久松 但
会報委員長	名古屋良輔	編 集 者	植松 正

3月のプログラム

844回	12:30	ブケ東海	インターアクト報告
03月05日(木)		久松但君	理事会
03月12日(木)		裁量休会	
845回	18:30	ブケ東海	PET報告
03月19日(木)		次年度会長・幹事	夜間例会
846回	12:30	ブケ東海	外部卓話
03月26日(木)		社会福祉法人静香会	浅賀貢様

出席委員会報告

●ビジター

1. 奈良橋 篤様：沼津北RC
2. 名取 賢吉様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
843回	25名	23名	-	92.00%
841回	25名	21名	1名	84.00%

●欠席者(2名)

後藤 昭、重光 純

●他クラブへの出席者

鈴木良則、久松 但
(2/22 地区チーム研修セミナー)

●スマイル報告

1. 佐野 稔：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 西島邦彦：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 鈴木良則：地区チーム研修セミナーに出席しました。所用につき、早退させていただきます。
4. 久松 但：名古屋、中継よろしくお願ひします。西島様、機材設置ごころうさまです。
5. 杉山真一：合同例会に出席できなくて残念でした。
6. 本村文一：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①新富士ロータリークラブ
4月7日(火)→5日(日) 健康推進ウォーキング例会 於：山梨県笛吹市桃源郷

2. 連絡事項

- ①ロータリーアンをターゲットにした数種の詐欺メールが出回っています。国際ロータリー

(RI) がEメールを通じて寄付を懇請したり、Eメールで個人情報を送るようお願いすることはありませんので、十分ご注意ください。

外部卓話



元テレビ朝日 ハノイ支局長
北村 元 様

「私とベトナム」

宣戦布告無き奇妙な戦争のベトナム戦争の最大の特徴は、想像を絶する化学戦争でした。途方もない量の枯れ葉剤が撒かれました。枯れ葉剤で一番有名なのは、エージェント・オレンジです。

ケネディ政権下の1961年8月10日、ベトナムの中部ダクトで、枯れ葉剤の撒布が始まりました。そして、アメリカ軍、南ベトナム政府軍は、終戦の1975年まで撒き続けました。従って、1975年まで南ベトナム領土は、世界で一番長い化学戦争の現場となったのです。その14年間に、アメリカ軍は約8,000万リットルもの枯れ葉剤を撒きました。この中に、人工物では史上最強で、世紀の毒素と言われる2378-TCDDというダイオキシンが含まれ、480万人のベトナム人が、ダイオキシンに曝露しました。

戦争の終わりは明白で、1975年4月30日です。しかし、戦争が終わっても、ダイオキシンは消えませんでした。それどころか、そのうち300万人が、種々の不治の病気にかかり、多くの人々が早逝し、数え切れない女性が生殖系の病に冒され、母親になるチャンスを失ったのでした。

一番の悲劇は、現在でも20万人の第2、第3世代のベトナムの子ども達が、欠損症、奇形、化学剤関連の疾病をもって暮らしていることです。現在ホーチミン市のトゥーズー病院の会議室に、奇形児の標本があります。後世に無言の証言者として伝えるために、心ある女医が集めたものです。

アメリカ政府は、この実態を無視し続けています。したがって、アメリカは自国の被災者にはカネを払ったが、ベトナムの被害者に一銭も払っていません。4年前ベトナムの被害者がアメリカで起こした損害賠償請求訴訟も、アメリカの裁判所は棄却しました。

ノーベル文学賞受賞者のウォーレ・ショインカ氏（ナイジェリア）は「ほかの人の身になって想像力を働かせること」が「正義の基本」と言いましたが、戦争を体験していない人が体験者の話に自分の身を当てはめる。そして、悲惨さを追体験した時、その体験は本当に受け継がれるのです。しかし、国際政治的には、アメリカはまだそれが出来ていません。

ユネスコ憲章の前文。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなくてはならない」・・・この精神に今こそ立ち返る必要があります。戦争ほど残酷なものはない。同時に戦争を忘れ去るほど、愚かなことはありません。アメリカによる広島、長崎の原爆投下も、日本がアジアで行った蛮行も、「永遠の傷は、忘却の中で癒されてはならない」（ユダヤの詩人カテネルソン）のです。



インターネット回線を通じ
北村様と交信する名古屋輔君



当日配布された写真資料

今回の例会は、オーストラリア在住の方にインターネット回線を通じて卓話していただくといった当クラブでは初めての試みでした。残念ながら相手方の画像を拝見することはできませんでしたが、音声は非常にクリアに聞きとることができました。

今回の企画にご尽力いただきました名古屋クラブ広報委員長に感謝申し上げます。

話は変わりますが、私の編集当番も今号をもちまして今年度は終了です。ちょっとホッとしますが、最後までしっかり務めさせていただきます。なぜなら次年度のこともありますから。

(文責 植松 正)